

# 施政方針に対する 代表質問 (要旨)

全文は板橋区議会ホームページに掲載します



坂本あずまお  
(自 民 党)

## 次期実施計画は未来につながる計画に

【質 問】30年度は次期実施計画を策定する一年。P D C Aサイクルを確認し、改善点や堅持する点を見極めるには、財政および人口の基礎調査や区民意識意向調査のデータが基礎となる。客観的データに基づき確固たる計画の策定を。

【区 長】次期プランは、東京で一番住みたくなるまちを実現していくステップアップのプランとなる。時代の流れに合わせて未来を見据え、絶えず新たな価値を生み出していくプランを策定していく。

【質 問】膨大な費用をかけて施設整備を続けても、母親の社会的孤立解消の効果は薄い。きめ細かく多様性を持った切れ目のない施策展開が重要。幼稚園に通う子どもや、2、3歳児がいる家庭への教育施策が不十分なのは。

【区 長】①第7期介護保険事業計画では、高齢者人口や介護認定率の将来推計を行い、必要な事業費、保険料を算定している。また、第9期介護保険事業計画の2年目に到来する2025年に向け、P D C Aサイクルを機能させながら施策の成果の可視化を図り、確かな予算計上に努める。②公共施設の計画的な整備にあたっては、単に機能継承するのではなく、将来需要を考慮し、機能や規模を定めている。また、人口減少社会を見据え、総量抑制も図っている。③社会環境の変化に合わせて、施設の複合化など様々な手法を検討し、柔軟に対応する。

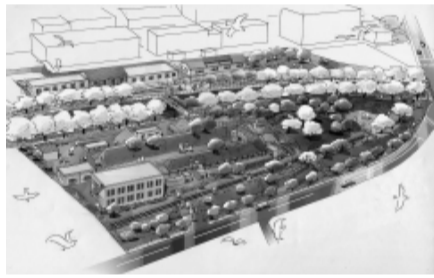
【質 問】区では単身・独居高齢者が急増している。家族や地域とのつながりなどの「関係性」が幸福度の指標の一つにあるように、健康寿命を延ばすためにも高齢者を孤立させない施策が必要。地域における対策は。

【質 問】陸上競技場整備の実現に向け、これまで最も積極的に取り組んできた板橋区が事務局の立場となり、練馬区、豊島区、北区、荒川区を含む城北5区の取りまとめを行うよう求めるが、見解は。

【質 問】地域特性を表現するには、図柄の選定が大変重要。図柄の選定方法と図案は。

【質 問】区内企業とベンチャーとの交流・連携の機会を設ける企業連携加速事業を推進しており、29年7月にシナガポールにおいて、区内企業と海外ものづくりベンチャーとの交流ツアーを実施したところ、連携が進むなどの成果が現れている。今後も付加価値を高める企業の取組みを積極的に支援する。

【質 問】①学習支援事業まなぶ1すの拠点について、地域的に隙間となっている赤塚福祉事務所管内にも拡大を求めるが見解は。②あいキッズ委託事業者のプロポーザルの際に、学習支援についての提案を求めるとはできないか。区の見解は。



史跡公園の整備イメージ



大田ひろし  
(公 明 党)



緊急通報システムの通報装置

【質 問】生活リズムセンサー付き緊急通報システムの普及が進んでいないと考える。センサーの導入により、一人暮らし高齢者などのような効果がもたらされたか。

【質 問】産後ケア事業は国や都の補助事業として、多くの自治体で導入が進んでいる。区でも早急に事業を開始することを求めるが見解は。

【質 問】医療的ケア児の支援を求めて

【質 問】医療的ケア児を受け入れる施設に対して国は環境整備を進めている。区としても短期入所施設の整備の推進を求めるが見解は。

【質 問】医療機関との連携も視野に入れ、施設整備の実現をめざす。

【質 問】施設設のAEDは施設が閉館して夜間や休館日の利用ができない。コンビニエンスストアへの設置の推進を求めるが見解は。

(3面に続く)